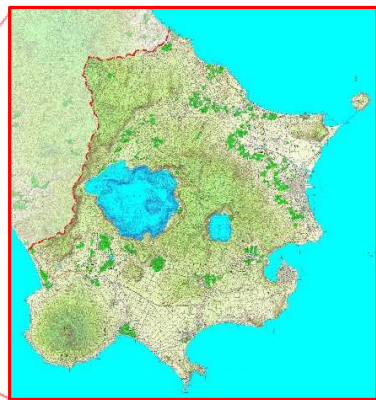


# 指宿市文化財保存活用地域計画【鹿児島県】

【計画期間】令和6～15年度（10年間）

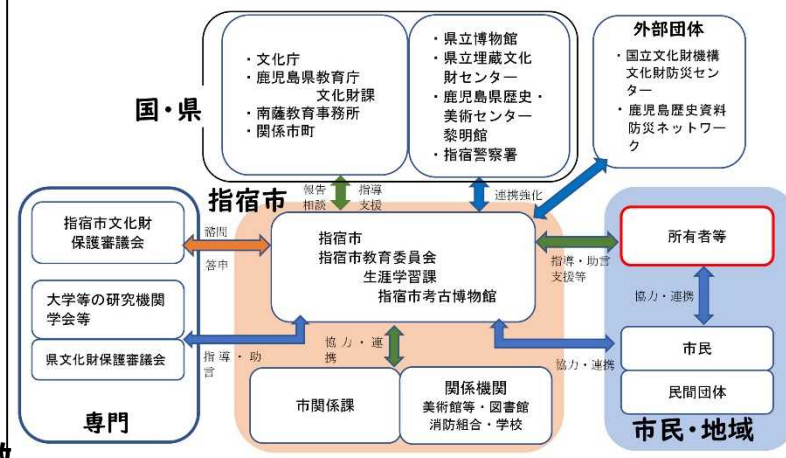
【面積】148.82km<sup>2</sup>

【人口】約3.6万人



開聞岳

## 推進体制



## 指定等文化財件数一覧

| 類型          |                   | 国  |    |    | 県    |    | 市  | 総数 |
|-------------|-------------------|----|----|----|------|----|----|----|
|             |                   | 指定 | 登録 | 選択 | 指定   | 指定 |    |    |
| 有形文化財       | 建造物               | 0  | 6  | —  | 1    | 3  | 10 |    |
|             | 絵画                | 0  | 0  | —  | 0    | 0  | 0  |    |
|             | 彫刻                | 0  | 0  | —  | 2    | 4  | 6  |    |
|             | 工芸品               | 1  | 0  | —  | 1    | 1  | 3  |    |
|             | 書跡・典籍             | 0  | 0  | —  | 0    | 0  | 0  |    |
|             | 古文書               | 0  | 0  | —  | 0    | ★1 | 1  |    |
|             | 考古資料              | 0  | 0  | —  | 1    | 0  | 1  |    |
|             | 歴史資料              | 0  | 0  | —  | 0    | 30 | ★1 | 30 |
| 小計          |                   | 1  | 6  | —  | 5    | 39 | 51 |    |
| 無形文化財       |                   | 0  | 0  | —  | 0    | 0  | 0  |    |
| 民俗文化財       | 有形の民俗文化財          | 0  | 0  | —  | 0    | 7  | 7  |    |
|             | 無形の民俗文化財          | 0  | 0  | —  | 0    | 5  | 5  |    |
|             | 小計                | 0  | 0  | —  | 0    | 12 | 12 |    |
| 記念物         | 遺跡（史跡）            | 2  | 0  | —  | 1    | 10 | 13 |    |
|             | 名勝地（名勝）           | 0  | 0  | —  | 0    | 0  | 0  |    |
|             | 動物、植物、地質鉱物（天然記念物） | 1  | 0  | —  | 4(5) | 2  | 7  |    |
|             | 小計                | 3  | 0  | —  | 5    | 12 | 20 |    |
| 文化的景観       |                   | 0  | -  | —  | -    | -  | 0  |    |
| 伝統的建造物群保存地区 |                   | 0  | -  | —  | -    | -  | 0  |    |
| 合計          |                   | 4  | 6  | —  | 10   | 63 | 83 |    |

★付き数字は指宿市考古博物館に寄託された内訳数

指定等文化財は83件、未指定文化財は2,253件把握

## 歴史文化の特徴

### 火山銀座指宿の歴史文化

#### 火山銀座を基礎として生み出された指宿

本市の地形や、豊かな温泉資源、肥沃な土地、様々な石材、金鉱山、中世・近世を代表する山川港、古代から航海目標物の開聞岳等を、火山銀座が生み出した。

#### 原始・古代の開聞岳火山災害

開聞岳は、平安時代まで噴火を繰り返し、縄文土器が弥生土器より古いことを証明したほか、古墳などを埋める災害や、平安時代の集落を埋没させる災害を起こした。

#### 松尾城と中世・近世・近代の指宿

中世後半から戦国時代の指宿の政治の中心であった松尾城、近世には指宿地頭仮屋が置かれ、経済の中心地ともなった。

#### 山川港を中心とした南との交流

山川港一帯は、南西諸島と共通した特徴を持つ成川遺跡の人骨、中世の海外交易の拠点や江戸時代の琉球貿易の玄関口、琉球芸能やサツマイモをもたらした交流拠点だった。

#### 薩摩国一宮枚聞神社を中心とした信仰

開聞岳は、古代から海神「開聞神」として崇拝された。開聞岳を祀る枚聞神社は、薩摩国一宮として、薩摩半島の宗教的中心となり、江戸時代には鹿児島藩主によって庇護された。一帯はいわば「宗教センター」の様相を呈していた。

#### 今和泉島津家と岩本

今和泉島津家は、鹿児島藩家臣団で最上位の一門家である。大字岩本は今和泉島津家の本領の中心地であり、本領本宅が置かれ、今和泉島津家の菩提寺や墓所が置かれた。また、当時の町割など、江戸時代の雰囲気の色濃く遺す地域である。

#### 幕末名君と豪商の足跡

宮集落・二月田集落周辺は、島津齊興と島津齊彬に深い関係を持つ。藩主の温泉別荘跡や、藩主が造り替えた指宿神社、干ばつ対策として掘らせた井戸の記念碑も遺されている。また、藩主を支えた海商8代濱崎太平次に関連する歴史文化資源が遺されている。

# 【基本理念】「火山銀座に育まれた歴史と文化の光を知り、まるともり活用するまち」

|            | 課題                                                                                                                                                                                   | 方針                                                                                                                                                                                          | 措置の例                                                                                                                                                                                                                                                     |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1<br>知る    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○把握調査が未着手の歴史文化資源の散逸、消滅の懸念</li> <li>○詳細な調査が行われていない歴史文化資源についての対応</li> <li>○多くの人に伝わるような情報発信の方法 など</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○調査未着手分野の把握調査の実施を検討</li> <li>○詳細調査の実施を検討する</li> <li>○様々な手段や場で情報発信に努める など</li> </ul>                                                                  | <p><b>22 指宿まると博物館マップリニューアル</b><br/>地域計画作成で実施した調査成果を活用し、まると博物館マップをリニューアルする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■行政</li> <li>■R6～7</li> </ul>                    |
| 2<br>人材確保  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○担い手問題を検討する機会の設置</li> <li>○地域住民が歴史文化遺産に関わる機会をどのように増やすか</li> <li>○歴史文化資源を活用して学校の教育活動を支援する人材確保</li> <li>○新たなルート設定などを通じた観光ガイドの人材確保 など</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○保存会の設立と運営をとおして担い手の確保に繋げる</li> <li>○地域住民が関わる機会を創出する</li> <li>○学校教育活動で活用する人材を確保する</li> <li>○歴史文化資源を観光分野で活用する人材を確保する など</li> </ul>                     | <p><b>30 地域での「文化財清掃デー」の実施</b><br/>地域の歴史文化資源を知る機会として「文化財清掃デー」の実施を奨励し、地域の歴史文化資源を見守る人材を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■団体・行政</li> <li>■R6～15</li> </ul>  |
| 3<br>守り伝える | <ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史文化資源の継続的な現状把握</li> <li>○歴史文化資源の価値付けと指定等</li> <li>○防災・防犯対策の策定</li> <li>○指宿市考古博物館の人的体制と施設の整備</li> <li>○早急な修繕や環境整備等への対応 など</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史文化資源の保存状況を継続的に記録できる体制を構築する</li> <li>○適切に評価し指定等する</li> <li>○防災・防犯対策を策定する</li> <li>○指宿市考古博物館の体制と施設を整備する</li> <li>○補助事業を活用して整備・修繕を実施する など</li> </ul> | <p><b>61 今和泉島津家墓所修繕事業</b><br/>国指定史跡今和泉島津家墓所の墓石・灯籠の立て直しと石垣修理を行い、墓所の保存に繋げる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■行政</li> <li>■R7～15</li> </ul>                   |
| 4<br>活かす   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史文化資源を学校教育や社会教育でさらに活用するための対策</li> <li>○観光資源として活用するための仕組み作り</li> <li>○情報発信拠点として指宿市考古博物館の展示リニューアル等</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育・観光の場で活用できるよう仕組み作りに取り組む</li> <li>○指宿市考古博物館展示リニューアル等の整備を推進する</li> </ul>                                                                            | <p><b>72 いぶすき検定の実施協力</b><br/>指宿商工会議所が実施するいぶすき検定のために、問題の作成や講座開催によって、いぶすき検定の実施に協力する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■団体・行政</li> <li>■R6～15</li> </ul>      |

# 9つの関連文化財群が語るストーリー

## ① 阿多カルデラ 黄金と天狗伝説そして縁結びの島

鬼門平断層崖は10万5千年前から11万年前の噴火で形成された「阿多カルデラ」で、指宿市域の大部分はこのカルデラ地形の内側に入っている。阿多石は、知林ヶ島の海岸に分布し、宮ヶ浜港防波堤等の材料として使用された。鬼門平断層崖付近には金鉱脈が分布し、大谷鉱山などはゴールドラッシュに沸いた。池田石は、今和泉島津家墓所の石材として利用された。知林ヶ島は鹿児島湾内最大の陸繋島であり、古くから信仰の対象となった。



## ② 温泉と山川石をもたらしした火山

指宿では様々な火山が噴火し、変化に富んだ火山地形が誕生し、様々な産業の基礎が形成された。山川石は中世には石塔の原材料として使われ、江戸時代になると鹿児島藩主の墓石のみに使用された。本市の地下には豊富な熱源があり、1000を超える泉源を生み出した。砂むし温泉には藩主の温泉別荘が置かれ、鹿児島を代表する温泉地となった。戦国時代の「湯豊宿」と表記は温泉豊かな本市の特徴を表した。熱変質で生成された白色粘土鉱床の発見によって薩摩焼の高級品「白薩摩」の生産が可能となった。



## ③ 池田カルデラ 神秘の湖と豊かな自然資源

6,400年前、池田火山の噴火で九州最大の池田湖が形成された。連続して次々と噴火が発生し、鰻池などのマール群が形成された。池田湖は中世には聖なる地とされ磨崖仏が遺る。江戸時代には竜神が住む湖とされた。ミネラル分豊富な水を利用した棚田がある。島津斉彬は灌漑を目的に鳥越堀切の工事に着手した。鰻池の湖畔には噴気が多数あり、これを利用したスメ料理は本市の特徴的な食文化となっている。



## ④ 開聞岳の噴火と原始・古代の指宿

開聞岳は4,000年前に海中噴火を始め、噴火を繰り返した。指宿地域では災害を受けた遺跡が発見されている。橋牟礼川遺跡では、弥生時代中頃の火山灰層から縄文土器と弥生土器の新旧関係が明らかにされた。平安時代には、郡の役所が置かれたが、874年旧暦3月4日の開聞岳噴火で、橋牟礼川遺跡や敷領遺跡では火山灰が厚く積もり固まり、復旧作業は断念された。人間の生活は数百年にわたり困難となった。



## ⑤ 松尾城をめぐる中世の戦いと近世・近代の指宿の発展

宮ヶ浜集落と外城市集落は、平安時代末から指宿の政治の中心であった。南北朝時代に指宿忠篤は、松尾城を造営した。頼娃兼洪は、天文4年(1535)に松尾城を奪ったが、薩摩国は永禄12年(1569)に島津義久が平定した。一国一城令で松尾城は廃城となった。指宿地頭飯屋が置かれ、江戸時代も引き続き政治の中心となった。幕末には、藩主島津斉興によって宮ヶ浜港防波堤の築堤や湊川橋の架橋により経済の中心地として発展した。



## ⑥ 山川港を中心とした南との交流と国際貿易

山川港の地は南との交流が盛んだった。縄文時代の遺跡で出土したのは沖縄・奄美で作られた土器である。成川遺跡の古墳時代の人骨は、南西諸島の人々と類似している。中世になると南との交易は山川港を拠点とした。天文18年(1549)、ポルトガル人商人は初めて日本滞在記を執筆した。江戸時代には藩が琉球貿易を行った。琉球使節は琉球芸能を遺し、前田利右衛門によってサツマイモが琉球からもたらされた。



## ⑦ 薩摩国一宮枚聞神社を中心とした信仰

開聞岳は南島航路の航海目標物で、9世紀前半には海神として崇拜されるようになった。枚聞神社は式内社となり、薩摩国一宮として宗教的中心となった。国内外から様々な物品が集まった。松梅蒔絵櫛笥附属品目録共一合は大永3年(1523)の貴重な工芸品である。江戸時代には歴代藩主によって庇護された。枚聞神社北の玉乃井は山幸彦と豊玉媛の神話の舞台である。一帯には寺社が集中し、宗教センターの様相を呈した。



## ⑧ 岩本周辺に遺された今和泉島津家の歴史

大字岩本は篤姫が生まれた今和泉島津家の本領中心地であった。鹿児島藩最上位の一門家の一つで、宝暦4年(1754)に本領本宅が置かれた。今和泉島津家墓所は、初代から6代までの当主らが葬られた。墓石の形の違いによって今和泉島津家の成り立ちを示している。藩道谷山筋は弘化元年(1844)に、山川港への便のため、今和泉郷の中央を通ることになった。一帯には江戸時代の町割が遺され、豊玉媛神社、当主の隠居屋敷跡などがまわっている。



## ⑨ 鹿児島藩主と豪商の足跡が示す指宿の幕末

宮集落・二月田周辺は、幕末の鹿児島藩主と関係の深い場所である。島津斉興は天保改革を進め、殿様湯を移設した。指宿神社の造り替えの際、「敵国降服」扁額を納め、外国勢力を退け、国家鎮護を図った。島津斉彬は、指宿の干ばつ対策として井戸97基を掘らせた。海商8代濱崎太平次は黒砂糖の輸送に従事し、藩の財政に貢献した。大字湊には屋敷跡や墓などの歴史文化資源が遺されている。



指宿市文化財保存活用地域計画【鹿児島県】

# 【関連文化財群】⑦薩摩国一宮枚聞神社を中心とした信仰

## 概要

本市のシンボル開聞岳は南島航路の航海目標物であったことから、9世紀前半には海神として崇拝されるようになった。枚聞神社は和銅元年（708）の創建とされ、開聞岳頂上に奥宮御嶽神社が置かれている。枚聞神社は、薩摩国一宮として薩摩半島の宗教的中心の役割を果たした。その後、新田神社との間で一宮争いが起きたが権威を誇り、国内外から様々な物品が集まった。江戸時代には歴代藩主によって庇護された。神社には藩主に関連する歴史文化資源が遺されている。また、開聞一帯には数多くの寺社が集中していた。信仰に関係する小字が多くあり、地域のあちこちに石塔群が残っている。

## 構成文化財（指定等文化財）



## 関連文化財群に関する課題

- ・枚聞神社所蔵の松梅時絵櫛笥付属品並目録共一合の修復後の保存環境
- ・枚聞神社を中心とした歴史文化資源の活用 など

## 関連文化財群に関する方針

- ・松梅時絵櫛笥付属品並目録共一合は指宿市考古博物館で保存を図り、神社での公開における展示環境の向上について助言する
- ・枚聞神社を中心とした観光周遊コースの造成に協力する など

## 関連文化財群に関する主な措置

### ⑦-2 枚聞神社国重要文化財収蔵保管

国重要文化財「松梅時絵櫛笥付属品並目録共 一合」を適切に保存するために、指宿市考古博物館を活用する

■行政 ■R6～15

### ⑦-5 新たな観光周遊コース造成のための歴史文化ストーリー活用協力

枚聞神社を中心とした歴史文化資源を活用した観光コース造成に協力する

■行政 ■R6～15



松梅時絵櫛笥付属品並目録共 一合